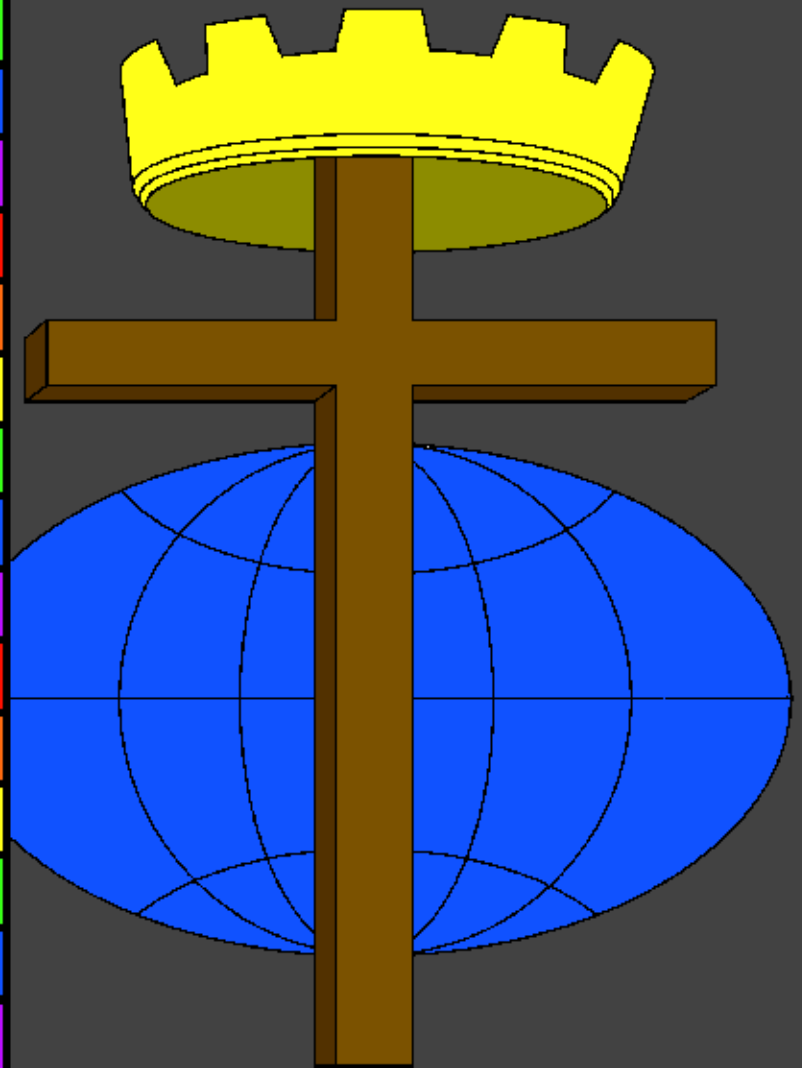
子供(こども)のインターネットバイブル

案内(あんない)いたします



よい王(おう)さま、
わるい王(おう)さま

文(ぶん): Edward Hughes

絵(え): Lazarus; Alastair Paterson

改作者(かいさくしゃ): Ruth Klassen

翻訳者(ほんやくしゃ): Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

出版社(しゅっぱんしゃ): Bible for Children

www.M1914.org

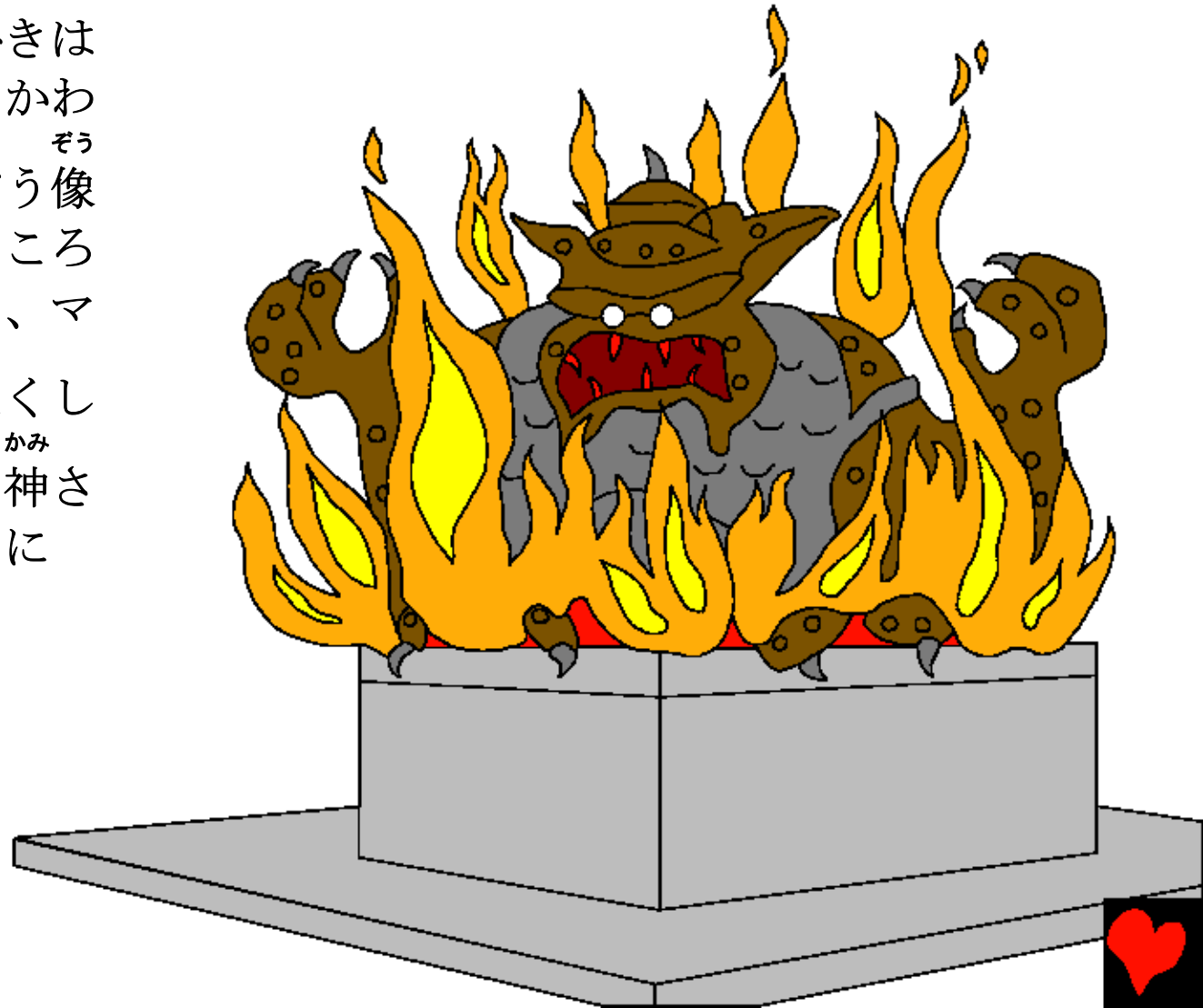
©2021 Bible for Children, Inc.

許可(きょか)： 他人(たにん)に売(う)らない限(かぎ)り このお話(はなし)のコピー、又(また)はプリントは、許可(きょか)されています

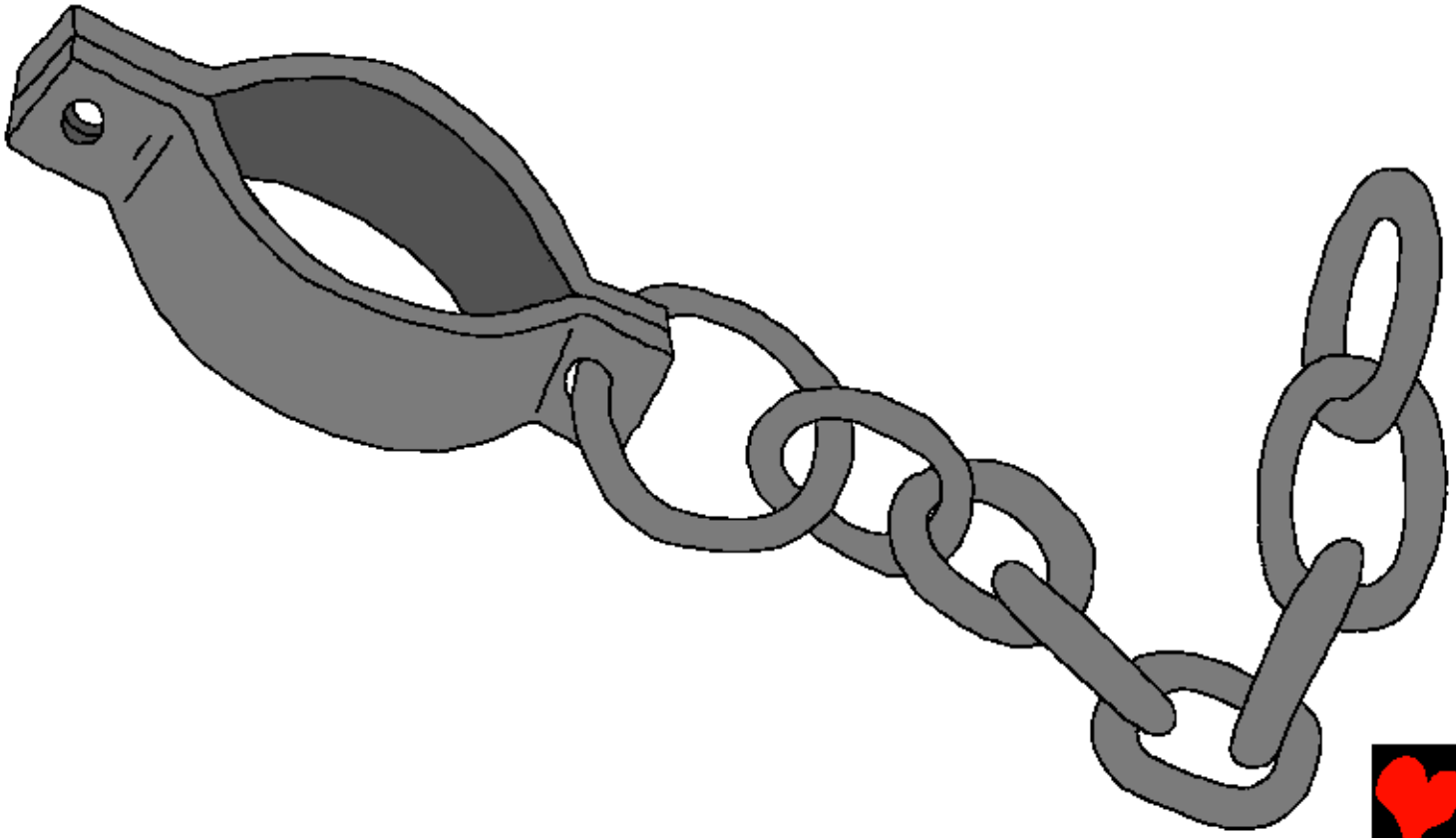
今日は、マナセにとって、とてもかなしい日でした。かれのお父さんヘゼキア王が、亡くなってしまったからです。マナセは、まだ１２さい。でも、かれはもう、神さまの人々が住んでいるユダの王さまなのです。マナセは、困ってしまいました。かれは、王さまといっても、いったいどうやっていけばよいのか、よくわからないのですから。でもね、マナセは、それから５５年ものながいあいだ、ユダの王さまだったのですよ。きっと神さまが、助けてくださったのでしょう。かれが、よい王さまでいられるようにってね。

マナセは、はじめ神さまのことをわすれ、ほんとうにわるいことばかりしていました。マナセは、ぐう像を礼拝するために、いちどお父さんがこわした祭だんを、またつくったのです。それだけではありません。あたらしいぐう像をつくって、それを聖なる神でんにおきました。そこで、神さまは、「わたしの言うことを、マナセに伝えよ。」と、モーセに言われました。「ぐう像をつくってはいけない。また、それらにあたまを下げることも、仕えることもいけない。」

マナセは、あくまの力をつかい、うらないや、まじないを行いました。かれは、人々を神さまから、すっかりひきはなしてしまったのです。かわいい自分のむすこも、ぐう像にささげるために、やきころしてしまいました。そう、マナセは神さまに、まったくしたがわなかったのです。神さまは、マナセにほんとうに怒ってしまわれました。



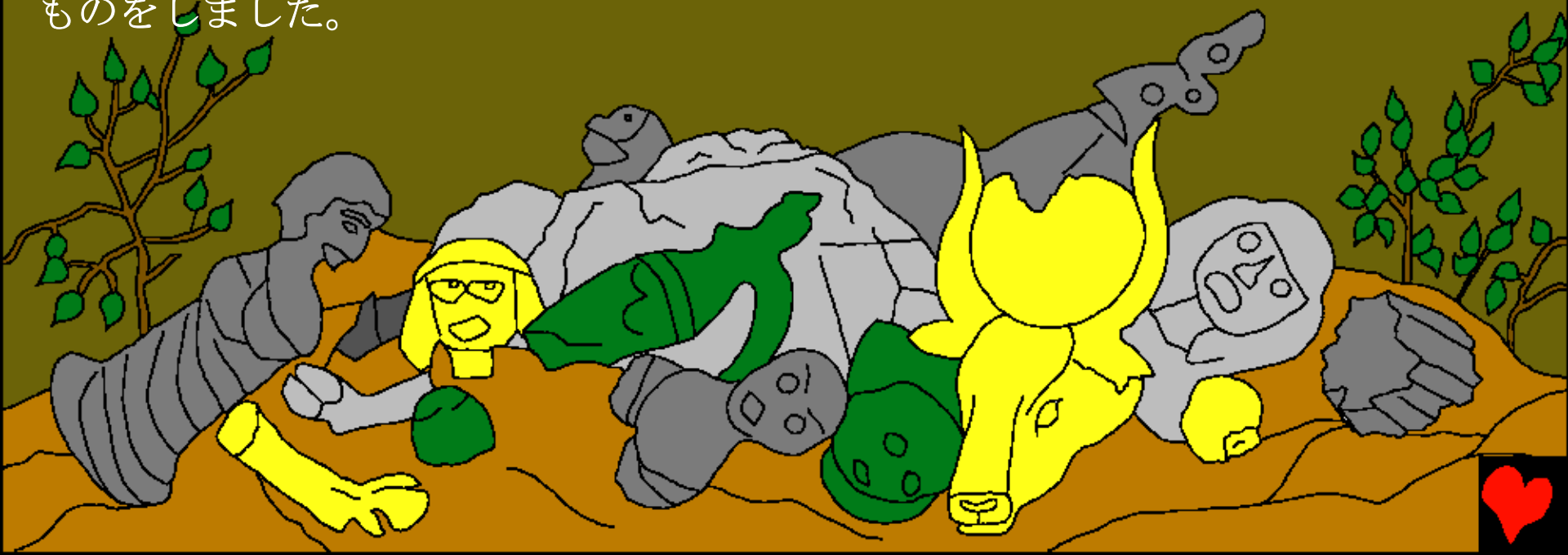
神さまは、人々がすっかり神さまからはなれ、したがわなくなったとき、ばつをあたえられます。このとき、神さまは、マナセとその民があまりに悪くなったのを、ごらんになり、ばつを与えられました。主は、アッシリアの軍たいに、かれらをやっつけるように、されたのです。マナセは、とうとうアッシリアの兵士につかまえられて、バビロンへ、つれて行かれてしまいましたよ。



バビロンで、くるしんだマナセ、このときやっと主なる神さまにしたがって生きることが、わかったのです。マナセは、かれの父である神さまに、ふかくあたまを下げ、心からあやまりました。「神さま、わたしはもうこれから、決してぐう像など礼拝しません。」いつも、わたしたちの祈りにこたえてくださる神さまですけれど、マナセの祈りには、どうだったでしょう。なぜなら、マナセは、ほんとうにひどいことをしてきたのですからね。

はい、神さまは、マナセの祈りにもちゃんとこたえてくださいましたよ。よかったですね。マナセは、エルサレムにもどることができたのです。そして、また王さまとして、自分の国の人々をみちびくようになりました。こうして、マナセはやっと主が神であることが、わかったのでした。

マナセ王は、ほんとうにあたらしく生まれかわったようです。かれは、まず主の神でんから、ぐう像をとり出しました。またエルサレムにあるほかの国の神々も、あちこちから集めましたよ。そして、それらをひとつのこらず、町の外になげすててしまったのです。かれは、もちろん主の祭だんも、もとのように直しました。「主よ、ありがとうございます。」マナセはこう言って、神さまにささげものをしました。



それから、マナセ王(おう)は、人々(ひとびと)にこうめいれいしました。「さあ、みんなイスラエルの主(しゅ)なる神(かみ)さまに、仕(つか)えるんだ！」マナセは、もう 昔(むかし) のマナセではありませんね！

さて、マナセ王が亡くなり、つぎにかれのひとりむすこアモンが、王さまとなりましたよ。でもね、アモンは、またぐう像を礼拝するようになってしまったのです。アモンは、お父さんマナセのように、主に仕えしたがうことを、まったくしませんでした。アモンは、どんどん悪くなっていきました。そして、ある日のこと、かれはとうとう 宮 でんの 中 で殺されてしまったのです。アモンが王さまだったのは、たった２ねんのあいだでした。

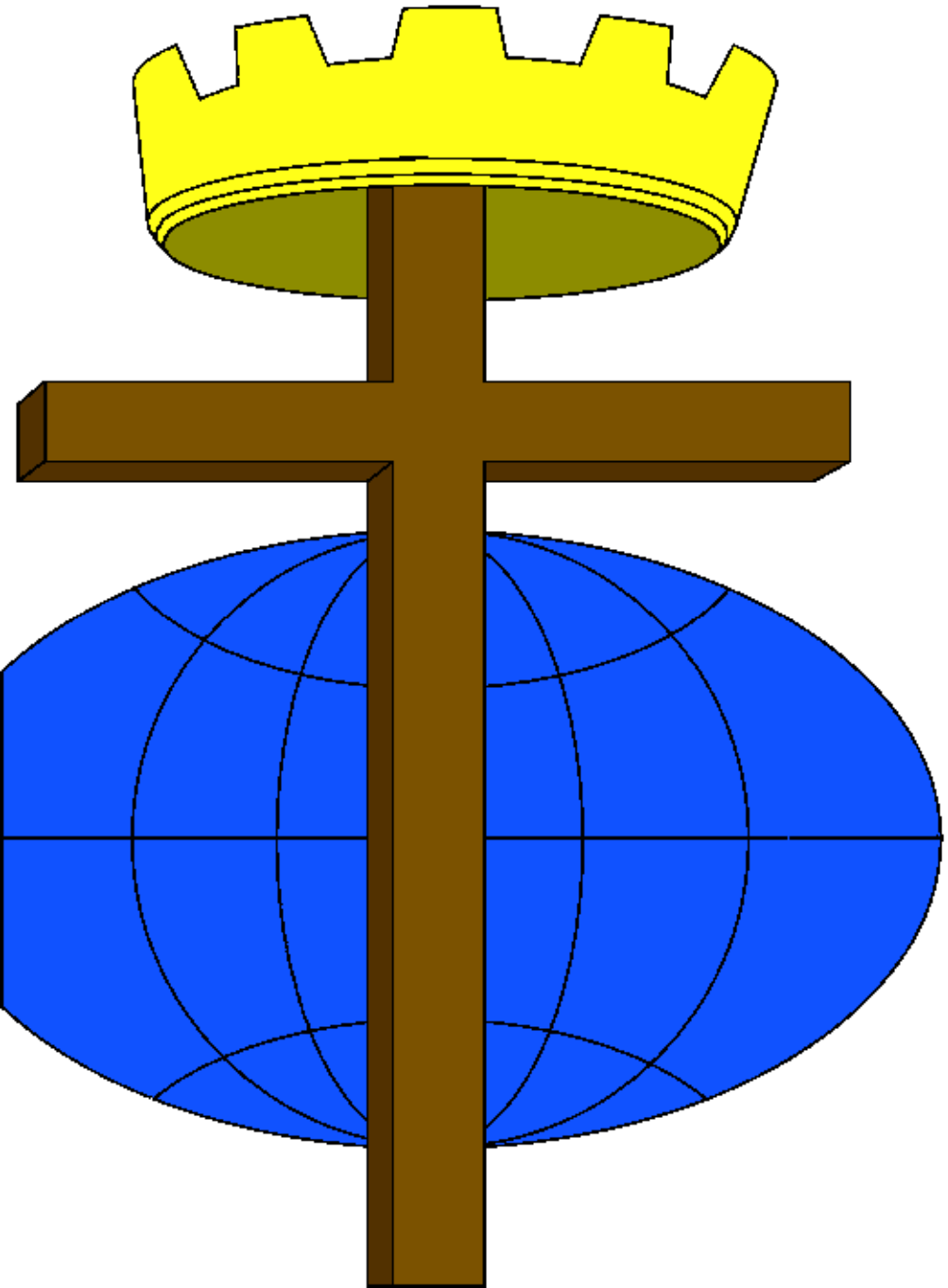
つぎの王さまは、ヨシア。かれも、まだ８さいのこどもでしたよ。けれども ヨシアは、それから３１ねんのあいだ、王さまでした。かれは、神さまにしたがい、正しく生きた人でした。ヨシアは、すべてのまちがった礼拝と、ぐう像の神さまをとりのぞきました。ぐう像は、みんなこなごなにこわされてしまいましたよ。

ヨシアは、ほんとうによい王さまですね。かれは、神でんを清めてきれいにし、悪くなっているところを、なおしました。あれっ、がらくたの中に、なにかありますね。ひとりの祭司が本のようなものを、みつけましたよ。なんの本でしょうか。それは、そのむかし、神さまがモーセに与えられた主のおきての本でした。

ヨシア王が、主のおきてを知ったとき、ほんとうにかなしみ、自分のふくをひきやぶってしまいました。なぜなら、むかしのたくさんの王たちが、なんて悪かったかということを知ったからです。かれらは、まったく主のおきてにしたがいませんでしたね。。

フルダという名のよげん者がいましたよ。このよげん者は、神さまからのことばを、ヨシアに伝えました。「ヨシア、主はこのように言われている。よく見よ！わたしは、この地で、この本にかかれているすべての呪いをかけるつもりだ。なぜなら、かれらはわたしをすてたからだ。」しかし、ヨシアは、いつも神さまに仕えしたがっていましたので、かれが死ぬまでは、この呪いはかけられなかったのです。

神さまは、ヨシアを助けてくださいましたので、人々はまた主にしたがって生きるようになりました。ある日、ヨシアが自分の軍の先とうでたたかっているときのことです。てきの弓にうたれて、ひどいケガをしてしまいました。かれのけらいは、いそいでかれを馬車にのせて、エルサレムのいえまでつれて帰ったのですが・・・。とうとうかれは、死んでしまいました。ヨシアは、ほんとうによい王さまでしたね。人々は、ヨシアの死を泣いてかなしみ、このすばらしい王さまヨシアの歌をつくりました。



それからすぐに、ながいあいだつづいた王国は、おわってしまうのです。でもね、いつの日か、このイスラエルに、ひとりの王が来られるでしょう。その方は、王の王、主の主なのです。イエス　キリストが、はじめてこの世にこられたとき、人々にきらわれ、ばかにされ、十字架にかけられてしまいました。けれども、イエス　キリストが、つぎにこの世にこられるとき、かれは、イスラエルだけの王さまじゃないのですよ。そう、この世ぜんたいの王さまですね。

よい王さま、わるい王さま

神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

創世記 37 章 - 39 章

あなたの御ことばが開かれると、光 が与えられます。

詩篇 119:130

おわり

この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしってほしいと、
思っていらっしゃるのです。

神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、しっていらっしゃいます。それを、神さまは、罪とよばれています。その罪のむくいは、死です。

けれども、神さまは、あなたをとても愛していらっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、この世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれどもそれから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさまを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさまは、今、あなたの所へ来て、あなたのこころの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさまといっしょに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。

愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなってくださいました。そして、よみがえって、いま生きて
いらっしゃいます。どうか、私のこころの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あたらしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにいることができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たすけてください。アーメン

まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書３：１６